

2022年度 【 阪神南・尼崎 】 ブロック活動報告

(尼崎) 代表氏名 (藤原 真由美)

■活動目標

1. 訪問看護師の質の向上
①情報共有・交換の工夫を行い管理者間の交流を深め管理者のマネジメント能力を向上させる。
②教育ステーションと協働しスタッフ向け及び管理者向けの研修会を年4回企画、開催する。
2. 尼崎市の会議体への積極的な参加によるネットワークづくりの推進
①地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割の明確化。
②ステーション間、多職種間の連携を強化する。
3. 会員数の増加を図り、組織力を強化する。
①新規ステーションへ入会勧誘活動し連絡協議会への加入を促進する。
②定例会の参加率を80%にする。欠席会員への定例会報告を行い情報の共有を図る。
③市内ステーション間の情報共有を行い、有事時の相互支援体制の構築を図る。

■活動内容

1. 定例連絡会 (管理者・役員会)

回	開催年月日	主な討議事項	出席者数
1	2022年5月26日	尼崎市在宅人工呼吸器使用難病患者に対する安否確認等情報連携に関する対応について、新型コロナウイルス感染症に関する情報交換	33名
2	2021年7月21日	兵庫県立障害児者リハビリテーションセンターからの連携説明、尼崎市在宅人工呼吸器使用難病患者に対する安否確認等情報連携に関する対応について、尼崎市濃厚接触者等在宅支援提供協力金の見直しについて、新型コロナウイルス感染症に対する今後の方向性について、訪問看護重要事項説明書の内容について、au通信障害時の経験から情報共有	32名
3	2022年9月22日	2021年度会計監査報告補足、新型コロナウイルス感染症に関する情報交換、陽性者動向、抗原キット配布、オミクロン株対応ワクチン接種、代替訪問看護システム内容の見直しについて	31名
4	2022年11月17日	尼崎市介護保険課からの連絡事項、新型コロナウイルス感染症に関する情報交換、陽性者動向、オミクロン株対応ワクチン接種について、各委員会からの活動報告、BCP策定について	32名
5	2023年1月19日	尼崎市北警察 生活安全課からの連絡事項、兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会からの連絡事項、新型コロナウイルス感染症に関する情報交換、陽性者動向、オミクロン株対応ワクチン接種について、各委員会からの活動報告、BCP策定について	30名
6	2023年3月23日	兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会からの連絡事項、新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)に関する振り返りと課題について、交流会について、入会案内パンフレット(案)の提示、BCPに関するアンケート結果の共有、あまつなぎの活動について 【検討事項】利用者から受けるハラスメントについて	31名

2. 総会

日時	場所	報告・審議事項	参加者数
2022年8月26日	Web	2022年度役員選出、2021年度活動報告・会計報告、2021年度活動計画案・収支予算案	23事業所 委任状13

3. 研修会

1) ブロック独自研修

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
安心安全な排便ケア	2022年11月29日	Web	嶋村尚代	29名
褥瘡予防におけるポジショニングと体圧分散	2023年1月21日	Web	上村博美	14名

散マットの選択・管理方法のポイント				
認知症の利用者と家族ケアの実際	2023年2月18日	Web	中塚 美貴	21名
看護実践の見える化	2023年3月25日	Web	新田紀枝	18名

2) その他研修会 なし

4. 交流会 なし

5. 地域の関連機関との連携及び会議等の出席に関する事項

会議名	開催年月日	場所	出席者氏名
尼崎市医療・介護連携協議会	2022年4月28日、5月26日、6月16日、7月28日、8月18日、9月22日、10月13日、11月30日、12月21日、2023年1月25日、2月22日、3月28日	Web	若松多美子 福田和美 藤原真由美
尼崎市地域ケア代表者会議	2022年9月29日、2023年1月31日	Web	濱中真由美 矢野伸一郎 山本朋巳
尼崎市コロナ対策本部会議	2022年8月5日、8月12日、8月19日 8月26日、9月2日、9月2日、9月16日	Web	並河直子 矢野伸一郎 中川陽介 藤原真由美

6. その他の報告内容

■活動の評価

- 第7波8波新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、職員の感染や濃厚接触による欠員の影響で、各訪問看護ステーションが事業所運営に苦慮している状況が持続した。在宅療養者に関しては、感染者数は6波ほど重症化率が高くないものの、脱水を併発し補液目的の訪問により滞在時間が延長する傾向がみられた。訪問看護ステーション連絡協議会尼崎支部では、保健所・医師会・あまつなぎと連携し、対象者への迅速な対応手段について検討を重ねているが、事業所数が多く統一しがたい状況があるため、災害時を視野に入れたステーション間の情報共有ツールについて今後も検討していく。
- 訪問看護師の質の向上を目指し、教育ステーションとのコラボで4回の研修会を開催できた。また、支部会議の中で小委員会を通しての問題提議やディスカッションを取り入れた会議を意識した。それが管理者の学習機会ともなりうると考える。
- 地域の連携の機会も増え、県立尼崎小田高校への出前講座に参加し、在宅での看取りについて高校生とともに考える機会があり訪問看護をPRする機会も得た。医療介護連携会議の中で尼崎市在宅療養ハンドブック概要版の作成および身寄りのない高齢者支援のための知恵袋活用推進など、他の合議体との共同作業により、地域参画も積極的に行えている。
- 今年度の入会ステーションは48ステーションとなったが、定例会参加は約7割で、委任状提出すら連絡のないステーションもある。欠席ステーションには動画配信も行っているが、協議会参画への意識向上を目指していきたい。